

# 氷表面の化学的機能を利用した氷マイクロ流体デバイスの分離計測化学への展開



稲川 有徳

宇都宮大学・助教

糖や塩などの水溶液を凍結すると、相分離により純粋な氷結晶と溶質が濃縮された凍結濃縮溶液が生じます。これまでに、申請者は凍結濃縮溶液をマイクロ流体デバイスとして用いる新規分離場を構築してきました。本研究ではこの概念をさらに拡張し、凍結濃縮溶液を用いて氷表面の機能を最大限に生かした

マイクロ流体分離場を構築し、氷と相互作用を起こす物質をターゲットにした分離計測法の確立を目指します。

